

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3145364号
(U3145364)

(45) 発行日 平成20年10月9日 (2008. 10. 9)

(24) 登録日 平成20年9月17日 (2008. 9. 17)

(51) Int. Cl. F 1
A 4 5 F 3/06 (2006. 01)
A 4 5 C 3/02 (2006. 01)
 A 4 5 F 3/06
 A 4 5 C 3/02 B

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-5072 (U2008-5072)
 (22) 出願日 平成20年6月24日 (2008. 6. 24)

(73) 実用新案権者 508222025
 石川 周
 愛知県名古屋市港区木場町 2-26 セン
 チュリースクエア木場 1406号
 (72) 考案者 石川 周
 愛知県名古屋市港区木場町 2-26 セン
 チュリースクエア木場 1406号

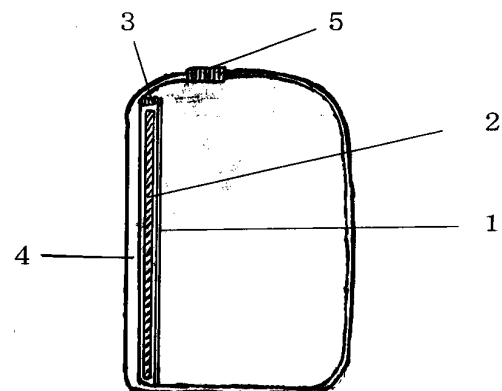
(54) 【考案の名称】 防刀リュックサック

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 通常のリュックサックの機能を有した状態で、突然の通り魔等の刃物から身を守ることのできる防刀リュックサックを提供する。

【解決手段】 通常の布製のリュックサックの背当て布の内側に内部から操作できるポケット 1 を作成し、ポケットの中に防刀用として躯幹部をカバーできる大きさのアルミ製または硬質プラスチック製の板 2 を収納する。板がずれないように、また、脱着可能とするようにポケットの入り口にチャック 3 を設ける。通常のリュックサックとしての機能は損なわず、突然の通り魔等の襲撃に対して身を守るのに役立つ。

【選択図】 図 2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

リュックサック本体背当て布内側にポケットを設け、ポケット内にアルミ製または硬質プラスチック製の板を挿入することにより、ナイフや小刀等を振り回す通り魔から身を守ることを可能としたところを特徴とする防刀リュックサック

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、内部にアルミ製または硬質プラスチック製の板を設置した、リュックサックに関するものである。

10

【背景技術】**【0002】**

通勤、通学、レジャーなどにおいてリュックサックを使用していても、刃物をもった通り魔に対しては、有効な防御方法がなかった。

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

従来のリュックサックでは、刃物を持った通り魔から身を守ることは困難である。従って、リュックサックに防刀機能を付加することにより、刃物から躯幹部を防御することを可能とし、前述の欠点を解決しようとするものである。

20

【課題を解決するための手段】**【0004】**

本考案は、リュックサック内に専用のポケットを設け、その中に軽量のアルミ製又は硬質プラスチック製の板を挿入することで防刀機能を付加し、刃物から躯幹部を防御することを可能とし、前述の欠点を解決している。

【考案の効果】**【0005】**

上述の様に、本考案は軽量の防刀用の板をリュックサック内に設けることにより、リュックサックとしての機能を損なわず、且つ、突然の通り魔の襲撃から身を守る盾として役立つ。

30

【考案の実施するための最良の形態】**【0006】**

躯幹部をカバーするサイズのアルミ製または硬質プラスチック製の板を作成し、背当て布の内側に内部から操作できる専用のポケットを設ける。その中に板を挿入して使用するが、板は脱着可能とし、使用中にずれないようにポケットの入り口にはチャックをつける。前方より通り魔が襲ってきた場合には、すばやくリュックサックを背部から胸部に抱えなおし、躯幹部を保護することができる。

【実施例】**【0007】**

以下、添付図面に従って一実施例を説明する。通常のカッションの入った布製のリュックサックの背当て布 4 の内側に内部から操作できるポケット 1 を作成し、ポケットの入り口には中に挿入した防刀用の板がずれないようにチャック 3 を設ける。防刀用として躯幹部をカバーできる大きさのアルミ製または硬質プラスチック製の板 2 を用い、同ポケット内に挿入して使用する。リュックサックの開口部 5 は通常のカッションである。

40

【0009】

本考案は防刀用の板 2 の脱着が可能であり、一般のリュックサックとしても使用可能であり、その際には内部に設けたポケット 1 は物入れとしても使用可能である。また、前方より通り魔が襲ってきた際には、すばやくリュックサックを背部から胸部に抱えなおして躯幹部を保護することができる。

【図面の簡単な説明】

50

【0010】

【図1】本考案を背当て布の方からみた一実施例である。

【図2】本リュックサックのA Bでの切断面図である。

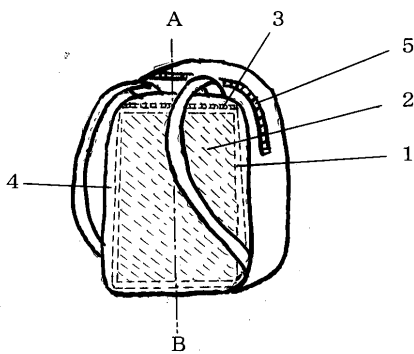
【符号の説明】

【0011】

- 1 背当て布内側のポケット
 - 2 アルミ製又は硬質プラスチック製の防刀用板
 - 3 内側ポケット開口部のチャック
 - 4 クッション入りの背当て布
 - 5 リュックサック開口部のチャック
- A B 図2で示した切断線

10

【図1】



【図2】

